

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2006-141624(P2006-141624A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-334524(P2004-334524)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 1 0 H

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月19日(2007.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

挿入部の先端側に湾曲部を備えた内視鏡装置において、

前記湾曲部にその一部を接続し、他部を回転体に接続した線状部材と、

駆動源より発生した駆動力を前記回転体に伝達し、前記回転体を回転することにより前記線状部材を駆動して前記湾曲部を湾曲する伝達機構とを備え、

前記伝達機構は、前記回転体を第1及び第2の方向の双方に回転可能であるとともに、前記回転体の回転方向を切り替え可能な切替機構を備えたことを特徴とする内視鏡装置。

【請求項2】

前記湾曲部は、前記回転体の回転方向に応じた方向に湾曲することを特徴とする請求項1に記載の内視鏡装置。

【請求項3】

前記線状部材及び該線状部材に対応する前記回転体は、前記湾曲部の目標湾曲方向に応じて複数設けられており、

前記伝達機構は、前記駆動源より発生した駆動力を前記複数の回転体のそれぞれに分配することを特徴とする請求項1又は2に記載の内視鏡装置。

【請求項4】

前記湾曲部を上下方向及び左右方向のそれぞれに湾曲可能なように、前記線状部材及び該線状部材に対応する前記回転体は少なくとも2組設けられていることを特徴とする請求項3に記載の内視鏡装置。

【請求項5】

前記伝達機構は、前記複数の回転体のそれぞれを略同時に回転可能であることを特徴とする請求項3又は4に記載の内視鏡装置。